

『重症患者に対してのシンバイオティクスを取り入れた栄養療法 の有用性に関する検討』 に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	<p>集中治療室（ICU）に入室される重症の患者さんは、病状の悪化に伴い、腸内環境（腸内細菌叢）が乱れやすくなることが知られています。この腸内環境の乱れは、免疫力の低下や感染症などの合併症を引き起こす一因となると考えられています。</p> <p>当院では、重症患者様の治療の一環として、シンバイオティクス（善玉菌であるプロバイオティクスと、その善玉菌の餌となるプレバイオティクスを組み合わせたもの）を投与しています。</p> <p>本研究の目的は、通常診療で投与されたシンバイオティクスが、重症の患者さんの感染症の発生率、入院期間、または回復の程度にどのような影響を与えるかを統計的に分析し、その有効性と安全性を科学的に評価することです。</p>
研究の方法	2025年04月01日以降に当院救命救急センターICUに入院となった患者さんのうち、下記の条件を満たし、シンバイオティクスの購入・投与に同意いただき、実際にシンバイオティクスを投与された患者さんの経過や検査データを収集し解析します。
対象者	西暦 2025 年 04 月 01 日～2028 年 03 月 31 日の間に、当院救命救急センターICUに入院して人工呼吸器管理が必要で
利用する試料/情報	情報等 入院した日付、年齢、性別、BMI、CCI、ICU入室時のSOFA score、血液検査データ（WBC、CRP、Pit、Alb）、主病態、昇圧薬使用の有無、シンプロテック投与日数、人工呼吸器管理期間、ICU滞在期間、入院日数、退院時転帰、院内感染の発症など
利用する試料/情報の取得方法	診療録、血液検査所見等
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	日本集中治療医学会で発表予定
試料・情報の利用又は提供開始日	院長による研究実施許可日
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2030年3月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 救急科 / 医長 / 山下 幾太郎
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 救急科 / 山下 幾太郎